

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-10	中学校	社会	社会(歴史的分野)	1～3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
81 山川	歴史081-72	中学歴史 日本と世界 改訂版		

## 1. 編修の基本方針

歴史を学ぶことを通して

社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を作る力を養うことのできる教科書

本教科書は、教育基本法第1条における教育の目的を踏まえ、中学校における歴史教育の重要性を考慮し、歴史を学ぶことを通して社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を作る力を養うことのできる教科書をめざしました。そのため、因果関係を重視した本文の記述や豊富な発問を通して、社会的事象の歴史的な見方・考え方を身に付けるとともに、生徒自らが関心を持ち、主体的・対話的で深い学びができるように工夫しました。また、教育基本法第2条における教育の目標を以下のように達成できるよう、編修しています。

- ▶第2条第1号「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」を達成するために…
  - ①全体を通してわかりやすい叙述を心がけ、テーマを設定して歴史的に深く掘り下げる「歴史へのアプローチ」や、地域の歴史を考える「地域からのアプローチ」を踏まえることで、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしました。
  - ②各ページに設定した豊富な発問や、取り上げた課題を話し合い、考察しながら学ぶ「歴史を考えよう」、章末の「まとめ」のページを通して、真理を求める態度を養うことができるようにしました。
  - ③各時代の人々の生活(p.72-73 など)や、人々の社会との関わり(p.94 など)などを示すことで、当時の人々の考え方を知り、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。
  - ④オリンピック・パラリンピックの記述や図版(p.272-273,280 など)、第1章2節「身近な地域を調べよう」(p.8-13)におけるフィールドワークを通して、健やかな身体を養えるよう配慮しました。
- ▶第2条第2号「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」を達成するために…
  - ①歴史上の人物の生涯や考え方を紹介する「人物コラム」を豊富に設けました。社会を動かした個人の

働きに着目することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。

②産業や技術に関する記述(p.202-204,206-207 など)や、職業に関する記述(p.230,273 など)などから、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しました。

▶第2条第3号「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」を達成するために…

①当時の社会における正義感や責任感がどのようなものであったのか学べるようにし(p.20,94 など)、正義と責任を重んずる配慮をしました。

②男性中心に偏りがちな歴史における女性の活躍が学び取れるよう、女性を取り上げた人物コラム(p.159,273 など)を設け、男女の平等を重んずる配慮をしました。

③各ページに設定した豊富な発問や、取り上げた課題を話し合い、考察しながら学ぶ「歴史を考えよう」などの活動を通じて、自他の敬愛と協力を重んずる態度が身に付くよう配慮しました。

④日本や世界が抱える現代の諸課題について、考察できる内容(p.276-283 など)を設け、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。

▶第2条第4号「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」を達成するために…

○本文叙述や図版の中で、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう工夫しました(p.143-145,206-207,283 など)。

▶第2条第5号「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」を達成するために…

①世界遺産や国宝に指定された文化財にマークを示して数多く紹介するとともに、各時代の文化を扱い、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。

②「地域からのアプローチ」では、地域の歴史や伝統文化などに焦点を当て、我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。

③世界史分野の記述を充実させ、親しみやすいイラスト中心のページ(p.26-27 など)を設けることで、他国を尊重するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 歴史との対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「身近な地域を調べよう」ではフィールドワークなどを通して健やかな身体を養う配慮をしているとともに、聞き取り調査なども盛り込んで、生活との関連を重視しています。(第1・2号)</li> <li>●「年代の表し方」では干支などを紹介し、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮をしています。(第5号)</li> </ul>	p.8-13  p.5

<p>第2章 古代までの日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域からのアプローチ① 奈良」「歴史を考えよう① 平安京と京都の街を考える」「地域からのアプローチ② 福岡」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●「縄文時代の人々の暮らし」「弥生時代の人々の暮らし」の叙述では、豊かな情操と道徳心を培えるよう配慮しています。(第1号)</li> <li>●「律令国家の仕組みと人々の暮らし」の叙述や発問を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しています。(第2号)</li> <li>●ハンムラビ法典やペリクレスの演説の史料では、当時の正義と責任の基本となる考え方を紹介しています。(第3号)</li> <li>●世界の宗教の歴史を紹介し、他国を尊重する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> <li>●「飛鳥文化」「歴史書の編さん」「コラム 日本の神話」「聖武天皇と天平文化」「正倉院宝物」「コラム 神仏習合」「国風文化と平安文学」の叙述や写真を通して、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.46-47,56-61</p> <p>p.29,30</p> <p>p.40-41</p> <p>p.18,20</p> <p>p.24-25</p> <p>p.37,42-45,51,54-55</p>
<p>第3章 中世の日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域からのアプローチ③ 平泉」「歴史を考えよう② マンガの源流、絵巻物を考える」「歴史を考えよう③ 関所を考える」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●「武士と民衆の生活」「自力救済・徳政・一揆」の叙述では、豊かな情操と道徳心を培えるよう配慮しています。(第1号)</li> <li>●御成敗式目や分国法の史料や、「自力救済・徳政・一揆」の叙述では、当時の正義と責任の基本となる考え方を紹介しています。(第3号)</li> <li>●「都市(町)の成長」「農村(惣村)の自治」「自力救済・徳政・一揆」の叙述や発問では、人々が主体的に社会の形成に参画した事例を紹介しています。(第3号)</li> <li>●「民衆の生活」「農業の発達」の叙述では、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第4号)</li> <li>●「武士の生活」「鎌倉時代の文化」「歴史を考えよう② マンガの源流、絵巻物を考える」「歴史へのアプローチ③ 琉球の歴史と文化」「歴史へのアプローチ④ アイヌ民族の歴史と文化」「室町時代の文化」の叙述や写真を通し、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.68-69,76-77,95,100-101</p> <p>p.72-73,94</p> <p>p.71,94,97</p> <p>p.93-94</p> <p>p.73,92</p> <p>p.72,74-77,88-91,98-99</p>
<p>第4章 近世の日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「歴史を考えよう④ 江戸図屏風を読み解く」「地域からのアプローチ④ 金沢」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●武家諸法度の史料では、当時の正義と責任の基本となる考え方を紹介しています。(第3号)</li> <li>●「江戸時代の社会の仕組み」の叙述では、当時の社会の仕組みから、自他の敬愛と協力を重んずる態度を学べるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●「歴史へのアプローチ⑤ 都市の暮らしと名所」では、自然を大切にすることを養えるよう配慮しています。(第4号)</li> <li>●「桃山文化」「諸産業の発達」「特産物の誕生」「コラム 漆器の広がり」「儒学と諸学問」「元禄文化」「新しい学問と化政文化」「地域からのアプローチ④ 金沢」の叙述や写真を通し、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.134-135,148-149,152-153</p> <p>p.121,132</p> <p>p.122-123</p> <p>p.144-145</p> <p>p.118-119,128,129,133,142-143,148-149</p>

<p>第5章 近代の日本と国際関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」「地域からのアプローチ⑤ 札幌」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●「産業革命と社会の変化」「富国強兵と殖産興業」「日本の産業革命と経済の発展」「都市と農村の変化」の叙述や発問を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しています。(第2号)</li> <li>●「市民革命の時代」の叙述や発問では、人々が主体的に社会の形成に参画した事例を紹介しています。(第3号)</li> <li>●「身分制度の廃止と四民平等」「労働者と社会問題」の叙述では当時の正義と責任について考えられるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●「歴史へのアプローチ⑦ 近代日本と女子留学生」では男女の平等を重んずる態度を養えるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●「コラム 五日市憲法」や自由民権運動の叙述では、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●ロンドン・テムズ川の汚染の図版や「人物コラム 田中正造」を通して、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第4号)</li> <li>●「歴史のアプローチ⑥ 国家とは何か」では、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> <li>●「歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」「文明開化と欧米文化の導入」「明治の文化と教育」の叙述や写真を通し、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.178-179,205,210-211</p> <p>p.160-161,176-177, 202-204,206-207</p> <p>p.156-159</p> <p>p.173,206-207</p> <p>p.185</p> <p>p.186-187</p> <p>p.161,207</p> <p>p.175</p> <p>p.178-181,208-209</p>
<p>第6章 二つの世界大戦と日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る」「地域からのアプローチ⑥ 広島」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●女性参政権に関連する図版や「人物コラム ガートルード＝ベル」では、男女の平等を重んずる態度を養えるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●「大正デモクラシーの風潮」「社会運動の高まりと普通選挙法の制定」「歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る」の叙述や発問では、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●「ゲルニカ」の図版や発問では、生命を尊ぶ態度を養えるよう配慮しています。(第4号)</li> <li>●「ヴェルサイユ条約と国際関係」の叙述では、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.228-229,250-253</p> <p>p.219,221</p> <p>p.223,226-229</p> <p>p.242</p> <p>p.218-219</p>
<p>第7章 現代の日本と世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法」「地域からのアプローチ⑦ 沖縄」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●オリンピック・パラリンピックの叙述や図版を通して、健やかな身体を養えるよう配慮しています。(第1号)</li> <li>●高度経済成長関連の叙述や発問、「人物コラム 大橋鎮子」を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しています。(第2号)</li> <li>●日本や世界が抱える現代の諸課題について考察できる内容を設け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度</li> </ul>	<p>p.260-261,276-277, 282-283</p> <p>p.272-273,280</p> <p>p.270,272-273</p> <p>p.276-283</p>

	を養えるよう配慮しています。(第3号)	
	●「過疎化と公害問題」「現在の日本の課題」の叙述では、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第4号)	p.270-271,281
	●「歴史へのアプローチ⑩ 日本の領土の変遷」の叙述や図版では、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)	p.268-269
	●「今日の世界」「現在の日本の課題」の叙述と発問では、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)	p.278-279,281

### 3. 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

#### ▶ICT を利用した学びの促進

- ①約 40 カ所に二次元コードを付し、インターネットを使用した、より多様な学びができるように配慮しました。インターネットの画面で教科書掲載写真の拡大を見つつ、教科書に掲載されている発問に答えることや、約1分～2分程度の動画などを見て、理解をより深めることなどが可能です。二次元コードは、紙面の該当箇所に付しています。
- ②学習者用デジタル教科書を発行する予定です。

#### ▶SDGs への配慮

- ①「質の高い教育をみんなに」の観点から、ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、カラーユニバーサルデザインを取り入れることで、多くの人に見やすい教科書となるように配慮しました。
- ②「つくる責任、つかう責任」の観点から、ページ数を抑えて資源に配慮するとともに、「緑の豊かさも守ろう」の観点から、再生紙と植物油インキを使用しました。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-10	中学校	社会	社会(歴史的分野)	1～3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
81 山川	歴史081-72	中学歴史 日本と世界 改訂版		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

歴史を学ぶことを通して

社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を作る力を養うことのできる教科書

本教科書は、中学校における歴史教育の重要性を考慮し、歴史を学ぶことを通して社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を作る力を養うことのできる教科書をめざしました。そのため、因果関係を重視した本文の記述や豊富な発問を通して、学習指導要領における、社会的事象の歴史的な見方・考え方を身に付けるとともに、生徒自らが関心を持ち、主体的・対話的で深い学びができるように工夫しました。以下、本教科書の特徴を示します。

### 特徴① 社会的事象の歴史的な見方・考え方を身に付けることができる教科書

- 描いている社会的な事象について、いつ、なぜ、どのように起こったのか、時期や場所によってどのように異なるのか着目できるよう、叙述や発問を工夫しました。

**文明開化と生活の変化** 政府は富国強兵を進めるため、欧米諸国の技術だけでなく、社会制度や学問・思想、生活様式なども導入した。また、暦を欧米諸国にならって改め、これまで使われていた旧暦(太陰太陽暦)を廃止して太陽暦を採用し、1日を24時間とし、のちに日曜日を休日と定めた。

欧米の文化の影響を受け、大都市を中心に人々の生活が変化し始めた。この風潮は当時文明開化と呼ばれた。特に首都の東京や、横浜・神戸のような外国人や外国文化と接する貿易港では、街にれんが造りの洋風建築が建ち、道には鉄道馬車や、日本人によって発明された人力車が走り、ランプやガス灯がともされた。また、洋服やコート・帽子・こもり傘など欧米式の服装が流行し、江戸時代にはさけられてきた牛肉を食べるようになるなど、衣服や食事にも変化が現れた。

一方、農村部では、引き続き農業に合った旧暦も使われており、衣服や食生活もすぐには変わらなかった。しかし、東京や横浜などへ旅行する際には、西洋建築や博覧会を見物し、舶来品(輸入品)を購入するなど、農村部でも文明開化に対する関心は強く、少しずつではあるが農村部の人々の生活も変化していった。

◀▼差異を重視した叙述と発問の例(p.180)



特徴② 主体的・対話的で深い学びができる教科書

- さまざまなパターンの豊富な発問を通して、生徒の主体的・対話的な活動をうながし、学習意欲を高める工夫を行いました。

▼p.100「第3章 まとめ」

第3章 中世の日本 **まとめ**

**1 農村にいる武士の立場で考えてみよう**

●あなたは農村をまとめる武士です。最近、別の武士が支配する隣村の人々があなたの領地に立ち入ってきます。あなたはどのように対応するでしょうか。だれをたよれば効果的か考えながら、対応策を練ってみよう。

時代	対応策
鎌倉時代	将軍に自らの領地の支配を保障してもらう。
南北朝時代	
室町時代	
戦国時代	

**2 農村にいる農民の立場で考えてみよう**

●あなたは農民です。今年は天候が悪く、農作物の育ちが良くありませんでした。自分たちの生活を守るために、何ができるでしょうか。だれからの支配を受けていたのかを考えながら、対応策を練ってみよう。

時代	対応策
鎌倉時代	
南北朝時代	農民たちが結束して年貢の軽減を荘園領主に訴える。
室町時代	
戦国時代	

1997(平成9)年に制定され、「北海道旧土人保護法」を廃止した「アイヌ文化振興法」の意義や、2019(令和元)年に制定され、アイヌ民族が先住民族であると記した「アイヌ施策推進法」の意義を調べ、これから目指すべき社会の姿について、話し合ってみよう。

◀p.205「地域からのアプローチ⑤ 札幌」

▼5 銅鐸

脱穀の様子

くわしく見てみよう  
銅鐸のつくり方

兵庫県出土 神戸市立博物館蔵

**ステップアップ**

初めて金属器を見た人々は、どのように感じたか、理由もふくめて考えてみよう。

▲p.31「稲作の広まりと弥生文化」 二次元コードから視聴できる動画の内容を踏まえることで、思考のヒントを得ることができます。

- 発問は、見開き冒頭に、その時間の学習内容を理解するための課題(A)を付し、生徒が見通しを持って学習に取り組むことができるようにしました。また、見開きの最後にはステップアップ(B)を設け、生徒の深い学びをうながすように工夫しました。
- 写真や絵図、史料などにも発問を付しました。二次元コードを用いて、インターネットで拡大画像を見つつ考察する発問(C)も設けており、より深い学びが可能になっています。

▼図についての発問(C) 二次元コードから拡大画像を見ることで、より深い学びが可能です。

▼課題(A)

**4 武士と民衆の生活**

①武士と民衆はどのような関係で結ばれていたのだろうか。  
②荘園領主と地頭との間の訴訟が増加したのはなぜだろうか。

①一遍は何をしているのだろうか。  
②どのようなものが売買されているのだろうか。  
③この場所に市が開かれたのはなぜだろうか。

▲4 備前国福岡市の様子  
【一遍上人絵図】 神奈川県 清浄光寺(遊行寺)蔵

くわしく見てみよう  
備前国福岡市

その後も続いた。

▼ステップアップ(B)

**ステップアップ**

荘園絵図がつくられた目的を考えてみよう。

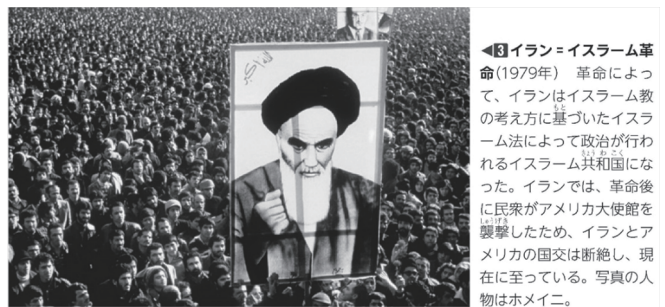
特徴③ 世界の歴史も含めた歴史全体の流れをつかむことができる教科書

- 世界の歴史に関する内容を充実させ、グローバル化が急速に進む社会を生きる生徒にふさわしい内容になるように工夫しました。同時に、日本の歴史との関連や、現在の国際情勢との関連を意識した叙述にしています。

2章	人類の誕生と進化(p.16-17)→古代文明の始まり(p.18-19)→地中海文明の発展(p.20-21)→中国文明と東アジア(p.22-23)→宗教のおこり(p.24-25)→2世紀の世界(p.26-27)→唐の成立と東アジアの変化(p.38)→8世紀の世界(p.48-49)→東アジアの貿易と遣唐使派遣の中止(p.54)
3章	西アジアとヨーロッパの交流(歴史へのアプローチ②、p.78-79)→13世紀の世界(p.80-81)→モンゴル帝国の拡大(p.82)→東アジアの変動と倭寇(p.86)
4章	ルネサンスと宗教改革(p.104-105)→ヨーロッパ人の海外進出(p.106-107)→ユーラシア大陸と海でつながる世界(p.108-109)→16世紀の世界(p.110-111)→18世紀の世界(p.150-151)
5章	市民革命の時代(p.156-159)→産業革命と社会の変化(p.160-161)→アメリカの発展とロシアの東方開発(p.162-163)→ヨーロッパ列強のアジア侵略(p.164-165)→欧米の帝国主義(p.190-191)→清と列強(p.196)→韓国の植民地化・中華民国の成立(p.198-199)
6章	第一次世界大戦と国際関係(p.214-215)→ロシア革命(p.216-217)→ヴェルサイユ条約と国際関係(p.218-219)→アジアの民族運動(p.220-221)→世界恐慌とその対応(p.232-233)→ファシズムの台頭(p.234-235)→第二次世界大戦(p.242-243)→イタリア・ドイツの降伏とポツダム宣言(p.248)
7章	冷戦の時代とアジア・アフリカの独立(p.262-263)→冷戦の終結(p.274-275)→今日の世界(p.278-279)

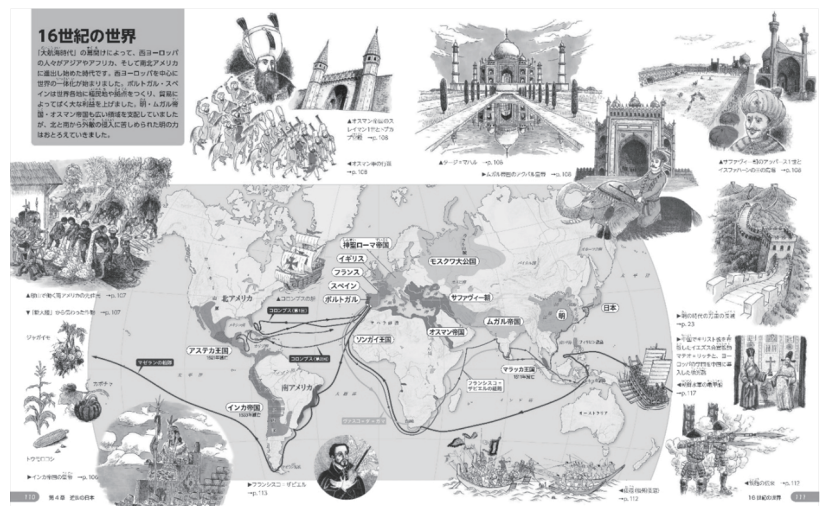
▼日本の歴史との関連を意識した世界の歴史の記述の例(p.160)

**「経済の広がり」とイギリスの台頭**  
 17世紀になると、ポルトガルやスペインにかわって、イギリスやオランダが海上貿易の主導権を争った。イギリスは東南アジアではオランダに敗れ、日本からも去ったが、北アメリカやカリブ海諸島では支配地を広げ、サトウキビやたばこなどを栽培する大規模な農園(プランテーション)を展開した。フランスもイギリスと同じように北アメリカやカリブ海諸島に植民地を広げた。プランテーションでは、アフリカ大陸から連れられてきた黒人奴隷が働き、その生産品はヨーロッパに持ちこまれて消費された。このように17世紀から18世紀にかけて、ヨーロッパ諸国は他の地域との経済的なつながりを強めたが、このつながりは地域間の対等な交易ではなく、支



現在の国際情勢との関連を意識した記述の例(p.275)▲

- 各章の扉には、日本と世界のできごとを上下に分けて示す帯年表を付し、視覚的に流れをつかむことができるような工夫をしています。
- 2・8・13・16・18世紀の世界を、地図と親しみやすいイラストで紹介するページを設け、各時代の世界の状況を通観して視覚的に理解できるような工夫をしています。





#### 特徴④ 小学校社会科・高等学校地理歴史科の学習との円滑な接続ができる教科書

- 小学校学習指導要領に取り上げられている人物を第1章1節で取り上げ、円滑に中学校での学習を始めることができるようにしました。
- 高等学校学習指導要領で目標として掲げられている、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉えること(歴史総合)、概念などを活用して多面的・多角的に考察すること(歴史総合・日本史探究・世界史探究)の基礎を身に付けることができるよう、以下の点に留意しました。
  - ・世界の歴史を充実させるとともに、日本の歴史と世界の歴史のつながりが把握できるようにしました(特徴③参照)。
  - ・第5章以降を中心に、「近代化」など高等学校での学習でも求められる概念を盛り込み、「用語解説」で解説しました。

▼用語解説の例(p.182)

**近代化・西洋化・近代国家** 日本の場合、近代化とは、ヨーロッパやアメリカを手本に、憲法もとに基づく議会政治の実現や、資本主義化の達成を目指すことを意味する。そのため、西洋化ともいう。また、近代国家とは、近代化または西洋化を実現した国家のことを指す。

#### そのほかの特徴

- 内容のわかりにくい用語には用語解説を付しました。
- 各地域の歴史や伝統文化などについて学ぶ「地域からのアプローチ」を7カ所に設けました。また、琉球やアイヌ民族の歴史や伝統文化については、「歴史へのアプローチ」で詳しく紹介しています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 歴史との対話			7
1節 私たちと歴史			
1 年代の表し方	A(1)私たちと歴史 ア	p. 5	(0.5)
2 時代区分の表し方	A(1)私たちと歴史 ア	p. 6	(0.5)
3 歴史を大きく変えた人物	A(1)私たちと歴史 イ	p. 7	(1)
2節 身近な地域を調べよう	A(2)身近な地域の歴史 ア・イ	p. 8-13	(5)
第2章 古代までの日本			21
第2章 扉	B(1)古代までの日本 イ	p.14-15	(0.5)
1節 世界の諸文明	B(1)古代までの日本 ア・イ	p.16-27	(4.5)
2節 日本文化のあけぼの	B(1)古代までの日本 ア・イ	p.28-35	(4)
3節 律令国家の形成	B(1)古代までの日本 ア・イ	p.36-45,48-49	(5)
地域からのアプローチ① 奈良	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.46-47	(1)
4節 貴族政治と国風文化	B(1)古代までの日本 ア・イ	p.50-55	(3)
歴史を考えよう① 平安京と京都の街 を考える	B(1)古代までの日本 イ	p.56-57	(1)
地域からのアプローチ② 福岡	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.58-59	(1)
第2章 まとめ	B(1)古代までの日本 イ	p.60-61	(1)
第3章 中世の日本			19
第3章 扉	B(2)中世の日本 イ	p.62-63	(0.5)
1節 中世社会の成立	B(2)中世の日本 ア・イ	p.64-67,70-75, 78-81	(5.5)
地域からのアプローチ③ 平泉	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.68-69	(1)
歴史を考えよう② マンガの源流、絵 巻物を考える	B(2)中世の日本 イ	p.76-77	(1)

2節 武家社会の成長 歴史を考えよう③ 関所を考える	B(2)中世の日本 ア・イ	p.82-94,96-99	(9)
第3章 まとめ	B(2)中世の日本 イ	p.95	(1)
	B(2)中世の日本 イ	p.100-101	(1)
第4章 近世の日本			23
第4章 扉	B(3)近世の日本 イ	p.102-103	(0.5)
1節 一体化へ向かう世界	B(3)近世の日本 ア・イ	p.104-111	(2.5)
2節 近世社会の成立	B(3)近世の日本 ア・イ	p.112-119	(4)
3節 幕藩体制の確立	B(3)近世の日本 ア・イ	p.120-127	(4)
4節 幕藩体制の展開 歴史を考えよう④ 江戸図屏風を読み解く	B(3)近世の日本 ア・イ	p.128-133	(3)
	B(3)近世の日本 イ	p.134-135	(1)
5節 幕藩体制の動揺	B(3)近世の日本 ア・イ	p.136-147,150-151	(6)
地域からのアプローチ④ 金沢	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.148-149	(1)
第4章 まとめ	B(3)近世の日本 イ	p.152-153	(1)
第5章 近代の日本と国際関係			28
第5章 扉	C(1)近代の日本と世界 イ	p.154-155	(0.5)
1節 欧米諸国の近代化と日本への接近	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.156-165	(4.5)
2節 開国と幕末の動乱	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.166-171	(3)
3節 立憲国家への道 歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.172-177,180-189	(8)
	C(1)近代の日本と世界 イ	p.178-179	(1)
4節 日清・日露戦争とアジア	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.190-201	(6)
5節 近代日本の産業と文化	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.202-204,206-209	(3)
地域からのアプローチ⑤ 札幌	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.205	(1)
第5章 まとめ	C(1)近代の日本と世界 イ	p.210-211	(1)
第6章 二つの世界大戦と日本			20
第6章 扉	C(1)近代の日本と世界 イ	p.212-213	(0.5)
1節 第一次世界大戦と日本 歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.214-227,230-231	(7.5)
	C(1)近代の日本と世界 イ	p.228-229	(1)
2節 国際協調の崩壊	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.232-241	(5)
3節 第二次世界大戦と日本 地域からのアプローチ⑥ 広島	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.242-249	(4)
	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.250-251	(1)
第6章 まとめ	C(1)近代の日本と世界 イ	p.252-253	(1)
第7章 現代の日本と世界			14
第7章 扉	C(2)現代の日本と世界 イ	p.254-255	(0.5)
1節 戦後の日本と国際社会 歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法	C(2)現代の日本と世界 ア・イ	p.256-259,262-273	(7.5)
	C(2)現代の日本と世界 イ	p.260-261	(1)
2節 新たな時代の日本と世界	C(2)現代の日本と世界 ア・イ	p.274-275,278-281	(3)
地域からのアプローチ⑦ 沖縄	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.276-277	(1)
第7章 まとめ	C(2)現代の日本と世界 イ	p.282-283	(1)
予備			3
		計	135